平成２１年11月1日　No.３０

総合学習センターだより

発行：相模原市立総合学習センター
〒229-0039 相模原市中央３丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

「さがみ風っ子教師塾」がスタート

平成２１年１０月３日「さがみ風っ子教師塾」の開塾式及び第一期入塾式を行いました。

多くの方に支えられ、この日を迎えることができました。式全体を通して、教員をめざす熱い思いが塾生から強く伝わってきました。

稲葉副塾長の開会のことばに続き、溝口碩矩教育委員長からあいさつをいただきました。子どもの将来を見据え、子どもの目線にたった教育を実践できる人材の確保と養成を、本塾が担っていることをお話ししていただきました。

続いてご来賓を代表して、加山俊夫相模原市長から「開塾にむけてのお祝いのメッセージ」をいただきました。今、政令市を迎えようとしている相模原市のさらなる発展にとって、本教師が重要な使命をもっていること等が盛り込まれていました。塾の使命の重さを改めて感じました。

引き続き、相模原市議会を代表して菅原康行副議長からごあいさつをいただきました。塾生は様々な学びを通して、実践力を備えて欲しいとの思いをお話ししていただきました。

熱い思いが伝わった第一期入塾式

開塾式に引き続き、第一期入塾式が行われ、緊張した塾生が岡本実教育長からお話を伺いました。

「常に日常的な教育課題の改善に取り組めるよう自らの研究心をもつことが教員として大切になること。」また、「子どもの姿をしっかりと捉え、自分なりの改善策を導き出していける力を養って欲しい。」など塾生に大きな期待を込めたお話しをいただきました。

深く心に響いた記念講演

式典終了後、的川泰宣塾長による記念講演を「相模原の子ども往還機」という演題で行いました。塾生にこれから９ヶ月の学びでは何を大切にしたらいいのかなど、示唆にとんだ内容でした。

宇宙と地球を行き交う往還機(スペースシャトル)をもとに、「これから子どもが生きる環境とそこで子どもにとって大切なもの」についての話となりました。

また、話の中からこれからの時代を生きる子どもに求められる姿は「冒険心を大切にする」「感動の戦慄を燃料に、なぜと問える」「何かを実現させる創造的な行動を、この上ない喜びと感じられる」ということを学ぶことができました。

さらに、現在この「冒険心・好奇心・匠みの心」にむすびつけた「いのちのトライアングル」をこれまで以上に意識すべきであるということを強調して、話していられたことが強く心に残りました。

共に学ぶ仲間を知る

午後からは、講座のトップを切って「教師をめざす仲間の姿を知る」のテーマで、山田昭文専任講師を中心に構成的グループエンカウンターの講義と実践を行いました。

初めて出会う塾生がお互いに協議しやすい雰囲気作りや自己を見つめなおすことをねらいに前半は、体を動かしながらの様々なエクササイズを行いました。また、後半は、クラスごとに専任講師を加えて、自分の趣味や最近の関心事など様々な事柄をやりとりし、「仲間の姿」にふれることができました。